

一般社団法人日本音響家協会北陸支部

第10回定時支部社員総会議事録

一般社団法人日本音響家協会北陸支部は、2016年5月10日(火)、13時30分～14時00分、金沢市近江町交流プラザ4階 研修室2において、第10回支部定時社員総会を開催した。

定刻より、総会開会に先立ち支部長の山本広志氏の挨拶があり、その後そのまま議長として着席、総会の開会を宣言。本支部正会員総数41名、出席総数が31名(委任17名)で定足数を超える議決権数がありこの支部総会が適法に成立していること告げ議事に入った。

第1号議案 2015年度支部活動報告

議長の指名により支部事務局長の岩崎氏より活動実績報告が行われた。

(1) 第9回定時支部社員総会

日時：2015年5月12日(火) 11時30分～12時、場所：金沢歌劇座・大練習室

参加者：支部会員42名、総会出席者17名、委任状提出者17名

(2) 第1回音響セミナー「ジャズ録音の魅力～なかなか聞けない録音秘話」&交流会

日時：2015年5月12日(火) 13時30分～15時、場所：金沢歌劇座大練習室、参加者：18名

講師：及川公生氏、参加者：受講者20名(うち会員17名、非会員3名)

(3) 第2回全日本マイクケーブル8の字巻コンテスト北陸地区大会(予選)

日時：2015年5月12日(火) 15時30分～17時、場所：金沢歌劇座大練習室、参加者：18名

協力：ライブギア株式会社

(4) 第2回音響セミナー「最新のスピーカー事情」&交流会

日時：2015年12月9日(水) 14時～16時30分、場所：金沢市民芸術村・パフォーミングスクエア)

受講者：26名(うち会員13名、非会員13名)

(5) 第3回音響セミナー「建築音響&音楽専用ソフトの活用」& こおろぎ社工場見学&交流会 ＜音響セミナー＞

日時：2016年2月2日(火) 13時～16時30分、場所：福井県民ホールアオッサ(福井県福井市)

受講者：35名(うち会員10名、福井県公文協職員25名)

講師：ホール建築音響について・・・(株)永田音響設計 小野 朗氏

ソフトを活用した録音や編集作業・・・支部会員 山崎 武志氏

＜工場見学＞

日時：2016年2月3日(水) 10時～13時、場所：株式会社こおろぎ社(福井県越前町)

参加者：会員10名

(6) サウンドA&T特集記事の企画編集

日本音響家協会発行誌「サウンドA&T」2016年1月号の特集記事の企画編集を北陸支部が担当。

テーマ：「ホールのライブ録音」

(7) 会員情報紙「小音響かわらばん」発行

4月・6月・8月・10月・12月・2月に毎号190部の発行(内、電子メールによる配信80部)で、2015年度は6回発行。オタリテック株式会社、TOA株式会社、株式会社エムアンドエヌ、浪花千葉音響計画有限会社、ローランド株式会社、ヤマハサウンドシステム株式会社の6社から広告出稿を得て広告料収入を発行経費に充当した。

(8) 会 議

＜運営委員会＞

2015年6月15日、8月17日、10月15日、12月9日、2016年2月2日、3月17日、4月7日に金沢市民芸術村第1会議室他にて計7回開催。

＜日本音響家協会平成27年度定時社員総会＞

2015年5月26日（火）金沢勤労者プラザ会議室において開催された総会を開催県として北陸支部が協力した。

第2号議案 2015年度会計報告（別紙により報告）

議長の指名により支部会計の牧野氏より会計報告が、監査委員の西氏から監査報告が行われた。

以上の2議案について提案した後、議長は質疑と討議を促し2議案をまとめて承認を求め、出席社員から異議なしの声があり全員一致で承認された。

第3号議案 2016年度支部事業計画

議長の指名により支部事務局長の岩崎氏より活動計画報告が行われた。

(1) 第10回定時支部社員総会

日時：2016年5月10日（火）13時30分～、場所：金沢市近江町交流プラザ研修室2

(2) 第1回音響セミナー 音響講話「日本の舞台芸能のはじまり」&交流会

日時：2016年5月10日（火）15時～16時30分、場所：金沢市近江町交流プラザ研修室2

講師：八板賢二郎氏

(3) 第2回音響セミナー「音響メーカーによる最新音響機器事情（仮称）」

実施時期：2016年11月下旬、場所：金沢市（予定）

(4) 小音響かわらばん100号発行記念事業

実施時期：2016年11月下旬、場所：金沢市（予定）

(5) 第3回音響セミナー

実施時期：2017年2月頃、場所：富山県（予定）、内容：未定

(6) サウンドA&T特集記事の企画編集

日本音響家協会発行誌「サウンドA&T」2017年4月号の特集記事を企画編集の準備をする。

(7) 会員情報紙「小音響かわらばん」発行 年間6回

偶数月（4月・6月・8月・10月・12月・2月）に毎号190部（内、電子メールによる配信80部）発行。オタリテック株式会社、TOA株式会社、株式会社エムアンドエヌ、浪花千葉音響計画有限会社、ローランド株式会社、ヤマハサウンドシステム株式会社からの広告協賛を「かわらばん」発行経費に充当する。

第4号議案 2016年度予算（別紙により提案）

議長の指名により支部会計の牧野氏より予算報告が行われた。

議長は以上の2議案について提案した後、質疑と討議を促し議案の承認を求めた所、支部社員より「小音響かわらばん100号記念事業」について事業内容の質問あったが担当より説明を加え納得して頂いた。その後出席社員から異議なしの声があり全員一致で承認された。

第5号議案 2016年度北陸支部運営委員（敬称略 順不同）

議長の指名により支部事務局長の岩崎氏より新たな支部運営委員案の氏名発表が行われた。

(1) 運営委員

山本広志（重任）、吉田正勝（重任）、西島 理（重任）、山崎武志（重任）、堀 裕一（重任）
岩崎証意（重任）、高木智裕（重任）、鷹栖 了（重任）、辻井克之（重任）、本 輝夫（重任）
山口雅照（重任）、永原 諒（新任）

(2) 監 査 西 一彦（重任）

(3) 支部推薦理事 鷹栖 了（重任）

役務分担は新運営委員会により互選することとする。

議長は上記の議案について報告・提案した後、質疑と討議を促し承認を求め、出席社員からの異議は無く全員一致で承認された。

以上を以ってすべての議事が終了したので、議長は14時00分に閉会を宣し、2016年度北陸支部定時社員総会を終了した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し議長たる支部長が記名押印する。

2016年5月10日

一 般社団法人日本音響家協会北陸支部長 山本 広志 ㊟
(議事録作成者支部事務局長 山崎 武志)

自 2015年4月1日
至 2016年3月31日

一般社団法人 日本音響家協会
北陸支部

2015年度決算書

(単位
円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
一般収入		一般管理費	
運営補助費	157,824	消耗品費	1,689
前年度繰越金	9,854	通信発送費	19,014
雑収入	20	旅費交通費	45,000
小計	167,698	接待交際費	0
事業収入		会議費	58,676
受講料	8,000	雑誌出版費	0
参加費	0	新聞図書費	0
寄付金・助成金	74,798	支払手数料	620
協賛・協力金	151,200	租税公課	1,566
企画制作料	0	借入金返済	120,000
短期借入金	120,000	備品費(消耗品)	0
雑収入	0	雑費	0
小計	353,998	小計	246,565
		事業費	
		消耗品費	5,480
		通信発送費	38,770
		謝金	15,000
		会場費	26,330
		旅費交通費	69,320
		接待交際費	42,238
		会議費	29,231
		賃借料	0
		印刷費	48,000
		雑費	0
		小計	274,369
収入合計	521,696	支出合計	520,934
		今年度剰余金	762
合計	521,696	合計	521,696

一般社団法人日本音響家協会北陸支部
支部長 山本広志 殿

一般社団法人日本音響家協会北陸支部
監査 西 一彦 印

監査報告書

定款施行細則第59条の規定に準用し、北陸支部の2015年度（2015年4月1日～2016年3月31日）の事業報告及び決算報告を監査しましたので以下の通り報告いたします。

1 監査の方法

2015年度は、自身の体調不良のため実施した支部事業にはほとんど参加することが出来ませんでした。定例運営委員会の会議議事録、各事業の計画書、事業報告書等の書類の閲覧、ならびに支部発行の「小音響かわらばん」の閲覧、および財務状況調査のため会計帳簿、入金明細伝票および証拠書類等を精査し、業務の執行状況および財務の状況について監査いたしました。

2 事業報告に関する監査

定時支部社員総会議案書の「事業報告」を監査しましたので、報告いたします。

- (1) 事業報告および会計報告は、各事業の執行が適正に報告されていると認めます。
- (2) 運営委員の職務の執行に関し、不正な行為または法令や定款に違反する事実はないものと認めます。

3 各種事業の業務執行に関する監査

(1) 会議の運営

ア. 定時支部社員総会について

総会の招集手続きは、開催日1カ月前に支部会員全員に往復はがきにて、議題、必要事項、委任方法を明記して告知し、返信はがきによる出欠の確認および委任状の提出等で議決行使を保証しており、会議における進行、採決の手続きについて適則に運営していることを認めます。

イ. 運営委員会について

運営委員会は、隔月定期的に金沢市民芸術村会議室で開催されており、出席率8割以上である。議題も事前に告知され、会議録も整理されている。事業企画にあたっては運営委員の意見が十分に配慮され、民主的に運営されていると認めます。

(2) 北陸支部事業の実施状況と評価

2015年度の事業実施状況については、事業計画に基づき、運営委員会で承認された各事業を担当する運営委員で実行委員会を組織し、責任を持って執行していること、また計画書および報告書が適切に記載されていることを認めます。

ア. 第1回音響セミナー「ジャズ録音の魅力～なかなか聞けない録音必話」

参加者が20名と若干少なかったが、内容は世界のビッグアーティスト、キースジャレットや日野皓正などの交流を交えた経験話はとても興味があり、有意義なセミナーとなった。新幹線が開通したおかげで及川氏も北陸にお越しいただくことが出来た。

イ. 第2回全日本マイクケーブル8の字コンテスト北陸予選

定時支部社員総会に併せて実施したため会員の参加が見られたが、一般の参加が少なかった。会員以外の参加を促すため、石川県の公立文化施設などを中心に周知する必要があった。

ウ. 第2回音響セミナー「最新のスピーカ事情」&会員懇親会

北陸でメーカーの新製品のテクノロジーに触れる数少ない企画であった。この種のセミナー

は関心が高いのか 29 名の参加があった。地域の音響関係者のニーズに応える事業の開催が望まれる。

- エ、 第 3 回音響セミナー「建築音響&音楽専用ソフトの活用」および「こおろぎ社」見学
福井県公立文化施設協議会と共催で実施。35 名の参加があり盛況理であった。共催により支部負担が最小限に抑えられたこと、福井県公文協関係者が多く参加していただいたので、セミナーとしても有意義であった。
内容も建築音響や山崎武志会員のフリーソフトを活用した音楽編集などのセミナーは実践的であった。今後、地域の公文協などとタイアップして開催することを模索していかなければならない。翌日のマリimba製造会社「こおろぎ社」見学は、会員参加が 9 名と少なかったが、今後このような企画が多く開催されることが望ましい。

(3) 小音響かわらばんの発行

既に 96 号を発行。内容も会員相互の情報交換の場として定着している。セミナー報告もあり、参加できない会員にも情報が提供されている。経費も各社の協賛金以内に収まっており、支部の財政に負担をかけていないことは高く評価できる。

4 決算報告の監査

2015 年度の北陸支部会計決算について、監査しましたので報告します。

入出金伝票、会計帳簿、その他証拠書類を監査した結果、収入支出とも適正に処理されていることを認めます。

追記

残念ながら支部全体の会員数の減少の傾向がみられる。会員拡充に対策を講じる必要があると考えます。魅力的な企画事業や支部の活動が見える運営を行い、協会の良さを P R することが大切である。今後努力を期待したい。

以上

自 2016年4月1日
至 2017年3月31日

一般社団法人 日本音響家協会
北陸支部

2016 年度予算書

(単位
円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
一般収入		一般管理費	
運営補助費	158,000	消耗品費	1,780
前年度繰越金	762	通信発送費	19,000
雑収入	18	旅費交通費	45,000
小計	158,780	接待交際費	0
事業収入		会議費	58,000
受講料	10,000	雑誌出版費	0
参加費		新聞図書費	0
寄付金・助成金	75,000	支払手数料	500
協賛・協力金	151,000	租税公課	1,500
企画制作料		借入金返済	0
短期借入金		備品費(消耗品)	0
雑収入		雑費	0
小計	236,000	小計	125,780
		事業費	
		消耗品費	5,000
		通信発送費	38,000
		謝金	15,000
		会場費	26,000
		旅費交通費	69,000
		接待交際費	40,000
		会議費	28,000
		賃借料	0
		印刷費	48,000
		雑費	0
		小計	269,000
収入合計	394,780	支出合計	394,780
合計	394,780	合計	394,780